

## 「障害者家族の老いる権利」について

日本においては、障害者のケアは家族が担うことが前提で成り立っており、高齢の親が障害のある子どもを介護する「老障介護」、「親亡き後」に誰が生涯のある子どものケアを担うのか、という深刻な問題を抱えています。

『障害者家族の老いる権利』を出版された田中智子先生をお招きして、①障害者家族の貧困の実態と原因、②ケア役割を社会へ移すことの必要性と課題を中心にお話しいただきます。

「ある社会がその構成員のいくらかの人々を閉め出すような場合、それは弱くてもろい社会である」(1979年 国際障害者年行動計画)という言葉の意味を、今いちど問い直し、一緒に考えましょう。

◆消団連幹事以外の方もご参加いただけます。

- 日時 : 11月11日(木) 13:00~14:00
- 開催方法 : オンライン(ZOOM)での学習会
- 講師 : 田中 智子 先生(佛教大学社会福祉学部教授)
- 参加費は無料です

### 講師のご紹介

佛教大学教授。研究テーマは障害者のいる家族に生じる生活問題、障害者福祉援助の専門性。著書に『知的障害者家族の貧困—家族に依存するケア』、編著に『いっしょにね!!—障がいのある子もない子も大人たちも輝くために』など。



## 申し込み先

お申し込みは、いずれかの方法で、11月4日(木)までをお願いします。後日、参加URLを送ります。

➤メール : [Ryoichi.Kurishima@ucoop.or.jp](mailto:Ryoichi.Kurishima@ucoop.or.jp) (神奈川県消費者団体連絡会 栗島)

➤FAX : 下記に必要事項を記入して FAX 045-473-9272

お名前	メールアドレス

➤右の二次元コードから



※お問い合わせ:神奈川県消費者団体連絡会 栗島まで(TEL: 045-473-1031)